



【テーマ1】源平合戦と北九州とのかかわり

源平の合戦を通して、平氏は北九州の地とどのようなかかわりをもちましたか。



主に門司区を中心に、城(門司城)や神社などを建て、勢力を広げる拠点となった。

【テーマ2】幕府支配が及んだ北九州

下の写真の資料と展示資料を見て、表をまとめましょう。



写真の資料名	金剛力士像
鎌倉幕府との関連	安置されている寺は、北条氏が建立したものであり、像はこの時代に栄えた文化を象徴している。
主な出土品	木簡 げた 土器など

【テーマ3】蒙古の襲来と九州の武士

蒙古襲来に関する資料を基に調べよう。

(1) 蒙古との戦いは、主にどこで行われましたか

福岡志賀島付近や博多湾岸
長崎県の壱岐や平戸、鷹島

(2) 二度の戦いを通して、幕府の九州への支配体制は、どのように変化しましたか。

北条氏一門が鎮西探題となり、北九州では豊前の守護が少弐氏から北条一門に変わった。

【テーマ4】北九州に広まった新しい仏教・文化

新しい仏教とそれに関係することがらを調べよう。



鎮西上人坐像

○ 鎌倉時代に新たに広がった仏教についてまとめよう

浄土宗や浄土真宗、法華宗(日蓮宗)、禅宗(臨済宗や曹洞宗)などが武士や庶民に広がった。

○ 鎮西上人についてまとめよう

比叡山で修行の後、法然の門下に入り、浄土宗の第2祖となった。1217年に現在の八幡西区に吉祥寺を建立した。

調べたことをまとめ、平安時代と比べた鎌倉時代の特色についてわかったことや気づいたことを裏面にまとめよう。